

1. 単元名 「日本の地形と気候」

2. 単元の目標

- ・日本の国土のようすや生活について、国土の地形や気候の概要を理解できるとともに、地球儀や地図帳などの各種資料を活用して、必要なことを調べてまとめる力を身に付ける。 (知識・技能)
- ・日本の地形や気候に着目し、地形や気候のようすをとらえて、その特色を考える力や調べたことから自分の考えを表現する力・発信する力を身に付ける。 (思考・判断・表現)
- ・日本の地形や気候のようす、特色などについて、学習課題などの解決に向けて、これまでの学習で身に付けた力を活用して意欲的に追究する。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、主に日本各地の地形や気候をテーマに「日本の気候の特色」「日本の地形の特色」「日本の火山活動・梅雨と台風」「雨温図の読み取り」を取りあげる。

日本には四季があり、その変化がはっきりしていることが日本の気候の特色の一つになっていること、山脈や海岸、島の写真や地図などの資料から日本各地には特色のある地形があることに気づくことで、日本の地形や気候について、児童が興味・関心を持てるようになっている。

日本の国土の特色について、地図帳やグーグルアースを活用して国土の特色が身近なところや児童自身の日常生活の中で行ったことのある場所を想起させやすくしている。

日本の地形や気候に関わる特色である火山活動や梅雨と台風を調べることで、それがわたしたちのくらしや産業に大きな影響を及ぼすことに気づくようにしている。

日本の国土が南北に長く、地形が山がちであることから、地域で気候が違うのではないかと推測できる。そこから日本には六つの気候区分があることを理解する。気候の違いが季節風に関係があることに気づき、それらの影響がわたしたちの暮らしにも関わっていることをとらえる。

学習問題について自分の考えを表現させて、他の人の意見を共有していき、本学習をより深化させていく。

(2) 児童観

本学級の児童は、社会科について興味・関心を持つ人が多い。授業内や日常生活で、新聞やテレビニュースなどマスメディアにふれる機会が多く、ある程度世の中のできごとを知っている。本学級では新聞が身近にある環境のため、自分自身が興味を持つ記事に出会ったときに、授業者や担任に話題提供をする児童も少なくない。

しかし、日本地図をはじめ雨温図などの資料を活用することが苦手だと感じたり、資料の読み取り方がよく分からないと感じる児童が一定数いる。そのため、授業内ではロイロノートなどのICTを利用して資料を活用するようにしている。そこで自分自身が気づいたこと、他の人が気づいたこ

とを書きこませる活動によって、学びを可視化できるようにして、授業内で学んだことの定着を図るとともに、児童それぞれの価値観を広げていくように努めている。

(3) 指導観

単元のテーマとして、大きく「日本の気候の特色」「日本の地形の特色」「日本の火山活動・梅雨と台風」「雨温図の読み取り」があり、身近な内容のものから雨温図のように初めて出会う学習内容などさまざまある。これらが日常生活に関連付けることを意識して学習を進めていく。

最初の学習では、4年生で学習した奈良県の地形について身近な気象現象をふまえて学習する。各地の写真やグラフ資料、新聞記事を活用して、同じ奈良県でも場所によって天気が異なること、日本にははっきりとした四季があること、これは世界的に見て珍しいことに気づかせる。

次に、日本各地の地形、気象について学習を進め、その際に地図帳を活用して各地の地形の特色を調べさせる。日本で一番高い山や長い川など特徴的なものや身近に知っている地形の名前をグループ内・クラス全体でクイズ形式に出題させて、児童が意欲的に取り組むことができるように工夫し知識を付けさせたい。季節ごとの天気予報と雨温図などの資料から日本各地の気象の特徴をつかませる。地形と気象が密接していること、日常生活にも影響を与えていることに気づかせていきたい。

また、火山活動や梅雨、台風などの災害がどのような影響を与えるのかを考えさせる。その際、4年次に学習した防災の内容をふまえて学習を進めていく。時事の内容を取り上げ、自然災害が発生した時に、どのように行動したらよいのかを考えさせる。雨温図の学習は算数の単元と関連付けて学習を進め、日本各地の雨温図をながめて各地の気候区分から、どのような特徴があるのかを分析させる。

学習のまとめとして、ロイロノートを活用して、児童たちが暮らす地域と自分が暮らしたい地域を学習した内容を軸に比較資料を制作し、発表・共有する。児童それぞれが制作した資料をもとに他の意見や感想を話し合う。最終的に振り返りシートで学習の内容についてどこまで深まったのかを評価していく。

単元全体を通して、普段の新聞やテレビ報道、ネットニュースなどマスメディアの内容が学習に直結していることを意識させながら、学習を進めていきたい。

(4) ESDとの関連

○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- ・ A 多様性 日本各地にはさまざまな地形や気候があることを知る。
それぞれで良い点・課題点があり、その課題に対してどのように問題解決していくかを追究する。
- ・ B 相互性 季節ごとにおきる現象と自分たちの日常生活が密接につながっていることに気づくことができる。

○本学習で育てたいESDの資質・能力

- 未来像を予測して計画を立てる力
 - ・「地球温暖化」をはじめさまざまな環境問題がさげばれているが、これからどのような生活を送ることになるのか。自分自身の考えをまとめることができる。
 - ・火山活動・台風、地震（南海トラフ地震）などの災害が将来起こると予想されているなかで、自分ができることは何か考えることができる。

- 多面的・総合的に考える力
 - ・地形と気候が暮らしに密に関連していることに気づくことができる。
 - ・自分たちの暮らす地域と他の地域の特徴を多面的に比較し、説明することができる。

○本学習で変容を促すE S Dの価値観

自然環境、生態系の保全を重視する

日本には四季があることが大きな気候の特徴であるが、近年では地峡温暖化をはじめとする環境の変化によって、崩れかけている。この現状に、自分にできることは何かを調べさせて、考察・表現させたい。

○達成が期待されるSDGs

- ・目標 11 まちづくり
- ・目標 13 気候変動

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①日本が山がちな地形で中部地方に高い山があることや、日本の川は短く流れが急で、大きな川の下流に平野が広がっていることを理解している。 ②日本の気候は、気温や降水量の変化をもとに、六つの気候区分に分けられることを理解している。 ③地図帳やグーグルアースなどの補助教材や資料を効果的に活用している。	①火山活動や梅雨、台風などの日本の気候の特色と人々の暮らしを関連付けて考え、表現している。 ②日本の地形や気候に関わることを考察し、自分のことばで表現している。 ③日本の地形や気候に関わる学習内容を関連付けて、資料としてまとめている。	①日本の地形や気候に関わる学習問題を持ち、学習の内容を考えている。 ②これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことで、さらに考えを深めている。

5. 単元の指導計画（全6時間）

次	主な学習活動（・予想される反応）	学習への支援（・授業内の活動）	評価（△） 備考（・）
1	○日本にはどんな季節があるだろうか ・春・夏・秋・冬の四つの季節がある。 ・最近秋でも暑い日が続いているな。 ○奈良県のようにすをみていこう ・北部と南部で降水量が違うな。 ・北部は平たい土地が広がっていて南部は山地が広がっている。	・新聞やニュースなどでどんな季節の話題があったのか児童に発問させる。 ・奈良県の地図・グーグルアースを活用して、児童が発言した内容が実際正しいかを確認する。	△ウ① （主体的） ・授業内発問 △ア③ （知・技） ・作業のようす

2	<p>○日本の地形の特色を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は山ばかりで、平地がぜんぜんない。 ・平地に暮らしている人が多いのではないか。 ・日本は小さい国だから、山や川、平地も小さいかもしれない。 ・日本の川は世界の川と比べてスケールが小さいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を活用して、日本各地にある一番の大きさ・広さ・長さの地形を調べさせる。 ・児童がクイズ形式で問題を出し合わせて、それ以外の地域に興味・関心が持てるようにする。 	<p>△ア① ア② (知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント <p>△ウ① (主体的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動 ・授業内活動
3	<p>○日本の火山活動・梅雨・台風・地震活動について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして日本ばかり、台風が来るのだろうか。 ・沖縄県は台風がたくさん通過して大変そうだな。なぜそんなに台風来るのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の火山活動・梅雨・台風・地震活動によってどんな影響があるのかを考える。 ・災害とどう向き合っていくのかを、学習内容と4年次までの内容を踏まえて自分の意見を記入する。 	<p>△ウ① (主体的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内発問 <p>△イ① (思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 自分の意見を書く。
4	<p>○日本の気候の特色を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福住地区は天理市の他の地区に比べて、寒いなあ。 ・沖縄県は冬のようにすはどうか。 ・北海道の夏はすずしいのだろうか。 <p>○雨温図から各地の気候について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高松市と松本市の違いがよく分からないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨温図の見方を説明し、福住地区の雨温図を読み取って、特色を調べさせる。 ・日本各地の雨温図を見て、気温や降水量を比較して、どのような気候なのか予想させる。 <p>→ ☆机間指導でようすを見ながら、状況に応じて、雨温図の解説をする。</p>	<p>△ウ① (主体的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業内の活動 <p>△ア② (知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント
5	<p>○日本の四季が曖昧になりつつある今、自分たちができることは何があるだろうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンキングツールを活用して、キーワードを出していく。 ・重要なキーワードを抽出して、解決に向けて、児童が考える解決方法を書いていく。 	<p>△ウ② (主体的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料制作作業 <p>△イ③ (思・判・表)</p>
6	<p>○クラス内で制作した資料を発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに発表者の良い点を評価する。(相互評価) ・資料制作・発表を通じて、授業者から発表した内容の良い点や気づいた点を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート資料 ・授業内発表 <p>△ウ② (主体的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりのワークシート